

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 159 2016. 11. 14

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学総合情報メディアセンターC館内

日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL: 080-9730-1311 FAX:058-293-3384

E-mail: jsei@gifu-u.ac.jp <http://jsei.jp/>

***** 第32回定時総会報告 *****

2016年8月20日(土)13:15から学校法人福山大学宮地茂記念館903教室において、日本教育情報学会第32回定時総会が開催されました。

正会員401名のうち145名の出席があり(委任状による出席者92名を含む)、定款27条により総会は成立し、定款26条2項により本郷健副会長を議長として総会を開会しました。

【提案された議案】 (Newsletter No.158をご参照ください。)

第1号議案 2015年度事業報告及び収支決算の件

第2号議案 2016年度事業計画及び予算案の件

第1号議案は原案通り承認されました。

第2号議案は原案通り承認されました。

第37回理事会での決定事項について報告がありました。【後載】

日本教育情報学会学会賞の表彰式を行いました。

***** 2015年度日本教育情報学会 学会賞受賞者 *****

1. 奨励賞(1件)

登本洋子(玉川学園, 東北大学大学院情報科学研究科), 後藤芳文(玉川学園), 伊藤史織(玉川学園), 河西由美子(鶴見大学), 堀田龍也(東北大学大学院情報科学研究科)

【ICTを活用した探究的な学習の効果についての検討】(第31回年会論文集, pp260-261)

2. 論文賞(該当なし)

前年度刊行の学会誌『教育情報研究』に掲載された論文のうちで特に優れたものに対して授与する。

3. 特別賞(該当なし)

***** 日本教育情報学会 第32回年会開催報告 *****

年会にご協力いただいた皆さまへ

日本教育情報学会 第32回年会
実行委員長 福井正康

2016年8月20日(土)と21日(日)の両日、広島県福山市の学校法人福山大学宮地茂記念館において、福山平成大学、福山大学共催で第32回年会が開催されました。

初日の午前中は6会場に分かれて課題研究発表、午後からは総会、学会賞表彰式、研究会活動報告があり、記念講演は、福山平成大学副学長坪井始氏に「数値情報の可視化」という演題で話をさせていただきました。シンポジウムでは、私がコーディネータを務め、シンポジストに高田信吾氏(株式会社虎屋本舗)、織田望氏(日本ニューマチック工業株式会社)、森雅生氏(東京工業大学)、河野敏行氏(岡山理科大学)、小川勤氏(山口大学)を迎え、「21世紀に必要な人間力を考える」というテーマで話をさせていただきました。

夜の懇親会には、鈴木省三福山大学副理事長、松田文子福山大学学長、田口則良福山平成大学学長にもご出席いただき、にぎやかで楽しいひと時を過ごさせていただきました。

2日目の午前中は4会場で課題研究発表、2会場で一般研究発表、午後からは6会場で一般研究発表が行われました。発表件数は両日で課題研究51件、一般研究64件で、参加者も160名を超えて、無事に年會を終えることができました。これもひとえに学会員の皆様のご協力の賜とっております。本当に有難うございました。



さて本年会には、福山市教育委員会、尾道市教育委員会、府中市教育委員会、笠岡市教育委員会、井原市教育委員会の後援を受けております。地域の協力があつてこそこの学会開催と感謝しております。また、学校法人福山大学には、会場や設備の面でいろいろとお世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。最後に、年会実行委員の皆様やご協力いただいた皆様には、貴重な時間を学会の運営のために費やしていただき、本当に有難うございました。

来年度以降ますます学会が発展することを祈り、お礼の言葉に代えさせていただきます。

***** 第33回年会について *****

第33回年会は、平成29年8月26日(土)、27日(日)に、芦屋大学(六麓荘キャンパス)において開催されます。(詳細は次号以降でご案内いたします。)

*** 第 37 回理事会における決定事項について ***

2016 年 8 月 20 日（土）12:0 から開催された理事会において、年会企画委員会規則、年会実行委員会規則の制定のほか、以下の事項が決定されましたので、お知らせいたします。

1. 論文掲載料の設定について

論文の質の確保及び投稿者の責任意識の向上のため、学会誌「教育情報研究」の掲載料について、以下のように設定する。

① 掲載料

論文、実践論文、研究報告とも掲載料を必要とする。掲載料は 8,000 円とする。

ただし、実践論文及び研究報告において、第一著者（筆頭著者）が幼・小・中・高等学校の現職教員である場合、その掲載料は無料とする。

② 実施時期

2017 年 4 月 1 日以降受け付けた論文から適用する。

【総会資料における実施時期の記載を間違えておりました。お詫びして上記のように訂正いたします。】

③ 課金の方法

掲載料と学会誌別刷り代金を合算した課金の算出方法は次のとおりとする。

課金 = 掲載料（8,000 円） + 部数・頁数に応じた別刷代金

<input checked="" type="checkbox"/>	別刷部数	計算式	合計金額
	希望しない	8,000 円	8,000 円
	50 部	8,000 円 + 1,080 円 × (表紙 1 頁 + 掲載 [] 頁)	円
	100 部	8,000 円 + 1,620 円 × (表紙 1 頁 + 掲載 [] 頁)	円
	150 部	8,000 円 + 1,890 円 × (表紙 1 頁 + 掲載 [] 頁)	円
	200 部	8,000 円 + 2,160 円 × (表紙 1 頁 + 掲載 [] 頁)	円

※掲載ページ数は、白紙ページを含めたページ数（偶数ページ）

2. 学会誌論文の英文抄録掲載について

本学会の目標の一つである国際化への対応として、「論文」には日本語及び英語による抄録とキーワードを付することとします。「実践論文」と「研究報告」には、日本語による抄録を付し、加えて英語による抄録とキーワードを付することができます。

上記の主旨を、投稿に関する手引きに次のように加筆します。

<執筆の手引き>

(2) 記入方法

①～② 略

③ 抄録，キーワード（和文については1頁目12行目から，英文については論文の最後行から1行空けてから）

（ア）論文には，和文及び英文による抄録と和文及び英文によるキーワードを付する．

（イ）実践論文並びに研究報告には，和文による抄録とキーワードを付する．また，英文による抄録とキーワードを付することができる．

和文抄録は，著者名（和文）の次の行から記入し，400字以内とする．英文抄録は，論文の最後の行から1行空けて記入し，300ワード以内とする．見出しは<和文抄録>及び<Abstract>とする．

キーワードは，5語程度とし，見出しは<キーワード>及び<Keywords>とする．

3. 国際会議の共催について

本学会の目標の一つである国際化への対応として，年会において国際会議 AAI との同時開催を目指していく。今後の研究活動の推進や国際交流の観点から大変有益ではあるが新しい試みであるため，実験的に教職開発研究会及び国際交流研究会との共催で実施し，その成果について検証していくこととする。

◆年会費納入のお願い

【2016年度】年会費および【過年度年会費】について，まだ納入がお済みでない方は，至急お手続きをお願いいたします。2月末までにお振込みがない場合は学会誌の送付を停止させていただきますので，お早めにお振込みをお願いします。

なお，「払込取扱票」を紛失された方は下記宛に振り込みをお願いします。

会費振込先

郵便振替口座：00840-5-133924

加入者名：日本教育情報学会

会員氏名・会員種別・会員番号は必ずご記入ください。

お支払いいただいた際の振込金受領書は大切に保管してください。会費お支払い等についてご不明な点のある方は，事務局までお問い合わせください。

日本教育情報学会 運営本部事務局

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

岐阜大学総合情報メディアセンターC館内

TEL: 080-9730-1311 FAX: 058-293-3384

E-mail: jsei@gifu-u.ac.jp <http://jsei.jp/>